



Monthly

ビバイNEWS

2024 1月号

1 January

Topics of the Month

今年もよろしくお願いたします。

今回の能登半島地震において、被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

こんにちは。ビバイ代表の迫田です。新年早々に大変な災害・事故が立て続けに起きてしまいました。改めて、私たちの何気ない日常というのは当たり前のもものでは決してないのだと感じました。災害の多い日本ですが、そこから得られた教訓は着実に蓄積されています。特に東日本大震災での津波は日本中に衝撃を与えました。今回の災害においても津波警報発令時に多くの方が速やかに高台へ避難されていたようです。しかしながら、日本全体における防災に対する意識はまだまだ高くないように思います。私自身、以前まで行っていた食料や水の備蓄などを怠っていることを自戒し、いつ自分が被災するかわからないという危機感を改めて持たなければと思いました。皆様のご家庭でも、普段の防災意識をアップデートし、お子様とも共有をしておきましょう。

Staff introduction

Pinky Win

<名前>ピンキー ウィン

<所属>上智大学

<海外歴>ミャンマー 15年、シンガポール 3年

<コメント>こんにちは！ピンキーです。現在、上智大学国際教養学部の2年生です。私は幼少期からミャンマーのインターナショナルスクールで育ち、高校はシンガポールにあるインターナショナルスクールに通っていました。たくさんのお子様たちと出会うことを楽しみにしています！



Staff diary

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。今年は元旦からショッキングなことが続き、新年早々防災対策の見直しをしました。日本には「おはし（おさない・はしらない・しゃべらない）」など、防災にちなんだ言葉があります。アメリカにも同じように、「Stop Drop and Roll（ストップドロップアンドロール）」という着衣着火時の合言葉があるそうです。「Stop（止まって）、drop（倒れて）、Roll（転がって）」という意味で、日本と同様に子どもの頃からこのように教育しているそうです。災害のメインが火災とハリケーンが多い、アメリカならではの合言葉だと思いました。いざと言う時の合言葉をお子様と話し合っておくと、防災意識がより身近になるかもしれませんね。新年から大変な災害・事故が相次ぎましたが、今年も皆様が健やかに過ごせることを心からお祈り申し上げます。（松本）